

低所得者に対する支援と生活保護制度

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 日田 剛

■使用テキスト

社会福祉士養成講座編集委員会(編)
『新・社会福祉士養成講座第16巻 低所得者に対する支援と生活保護制度 第4版』
中央法規出版 2016

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

公的扶助は貧困から救済するための最後のセーフティネットとして、国民の生活を保障する制度として機能することが求められている。そのため、公的扶助は人の生存権に深く関わるものであり、その制度の内容や運用が生死を分けるといっても過言ではない。

この科目は、現代社会における低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際を知り、相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に関わる他の法制度について理解することを目的に、生活保護法を中心に低所得対策の理念や意義、その内容を学ぶとともに、生活保護制度の運用にたずさわるソーシャルワーカーの役割について考える。

到達目標

- 1) 公的扶助制度の歴史、公的扶助の理念と意義について理解する
- 2) 生活保護制度と関連制度の仕組み、生活保護の実施と関係専門職の役割を理解する
- 3) 低所得者の動向と課題、低所得者の支援に関する社会保障制度について理解する

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 公的扶助の概念

この章のポイント

第1節では、各国に共通する公的扶助制度の基本理念や考え方、その仕組みや内容等を学習することで、公的扶助の概念とその範囲について理解する。また、社会保障制度の中心となる、救貧制度としての公的扶助制度と防貧制度としての社会保険制度を対比することで、公的扶助の基本的性格とその特質についての理解を深める。第2節では、公的扶助の意義と役割・機能について、セーフティネット機能・ナショナル・ミニマム機能を中心として学習する。

第2章 貧困・低所得者問題と社会的排除

この章のポイント

第1節では、公的扶助制度が対象とする貧困・低所得について、生活や社会階層の観点から概念整理を行う。第2節では、貧困の定義と社会的排除について、国内外の研究者による実態調査や理論を中心に学習する。第3節では、現代の貧困・低所得者問題の特徴について理解する。

第3章 公的扶助制度の歴史

この章のポイント

第1節では、社会保障や社会福祉制度の成立と展開が典型的に現れている欧米の歴史を通し、国家が貧困・低所得者問題にどのように対応してきたのかについて学習する。第2節では、欧米との対比において、日本における公的扶助がどのような経緯をたどり、現行の公的扶助制度に至っているのかを理解する。第3節では、日本の貧困・低所得者対策の動向について理解する。

第4章 生活保護制度の仕組み

この章のポイント

第1節、第2節では、生活保護法の目的および基本的な考え方となる4つの原理と、保護を具体的に実施する際の4つの原則について学習する。第3節では生活保護の8種類の扶助の内容等、第4節では生活保護法に規定する5つの保護施設、第5節では被保護者の権利と義務について、また第6節では、不正・不適正受給対策について学習する。第7節では、被保護者の救済制度としての不服申立て制度および訴訟について学習する。第8節では、生活保護制度の財源・予算について学習する。

第5章 最低生活保障水準と生活保護水準

この章のポイント

第1節では、生活保護制度で設定される最低生活保障水準がどのような考え方に基づいているのかについて学習する。第2節では、生活保護基準の中心となる生活扶助基準の算定が、どのような変遷を経て、現行の水準均衡方式となったのかについて理解する。第3節および第4節では、生活保護基準額の実際を知り、その算定方法を学習する。

第6章 生活保護の動向

この章のポイント

第1節では被保護人員および被保護世帯数の動向、第2節では保護の開始・廃止の世帯数や人員およびその原因、第3節では医療扶助、介護扶助の動向について、統計資料をもとに年齢階級、世帯人員別等さまざまな視点から学習し、被保護者（世帯）の特徴を理解する。

第7章 低所得者対策の概要

この章のポイント

第1節では、生活困窮者自立支援法、第2節では生活福祉資金貸付制度、第3節では社会手当制度についてその沿革および制度の基本的内容を学習する。第4節では、近年、取り上げられることが多いホームレスの自立支援対策について、法制化までのプロセスとその内容、その後の展開について学習する。第5節では、公営住宅制度や民事法律扶助制度等、その他の低所得者対策について学習する。

第8章 生活保護の運営実施体制と関係機関・団体

この章のポイント

第1節では、福祉事務所の沿革を通して、国・都道府県・市町村の役割や生活保護を中心とする実施機関としての福祉事務所の位置づけを学習する。第2節では、現行の福祉事務所の組織体制とその役割について理解する。第3節では、福祉事務所で生活保護の決定や実施にかかわる社会福祉主事の役割について理解する。

第9章 貧困・低所得者に対する相談援助活動

この章のポイント

第1節では、生活保護における相談援助活動の位置づけや枠組み、生活保護決定実施プロセスについての一連の流れを理解する。第2節では、低所得対策における相談援助活動について、生活福祉資金貸付制度、ホームレス支援策を活用した事例をもとに、その問題や課題に対し、ソーシャルワーカーがどのような働きかけをしているのかに着目し、理解を深める。第3節では、相談援助活動を展開するにあたり、どのような関連専門職・専門機関と連携・協働する必要があるのか学習する。

第10章 生活保護における自立支援

この章のポイント

第1節では、生活保護法の目的の1つである自立について、その概念整理を行う。第2節では、自立支援プログラムの導入がこれまでの対人援助活動のなかにどのように位置づけられるのかについて学習する。第3節では、自立支援プログラムの策定方法について学習する。